

ストラヴィンスキー没後 50 年

Noism0 + Noism1 + Noism2

春の祭典

『春の祭典』

音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》

出演：Noism0、Noism1、Noism2

『Fratres III』

音楽：A.ベルト 《Fratres》 出演：Noism0、Noism1

『夏の名残のバラ』

音楽：F.V.フロトー 《Martha》より 《Last Rose of Summer》

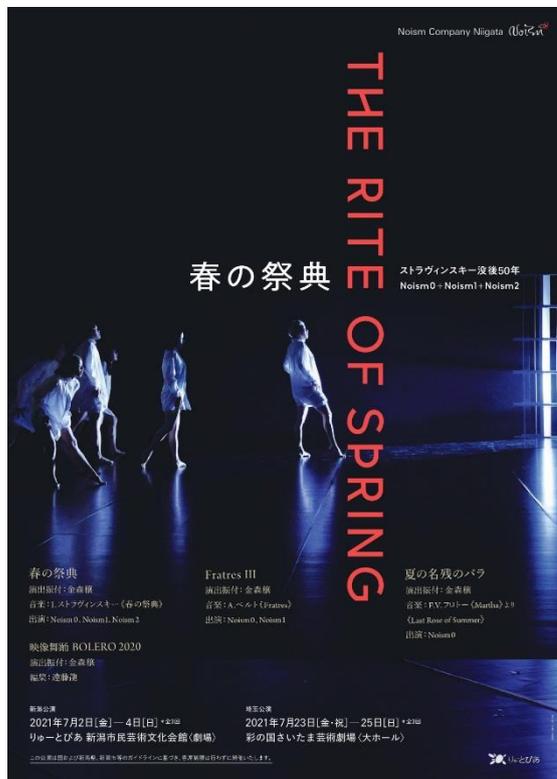
出演：Noism0

*芸術選奨文部科学大臣賞・日本ダンスフォーラム賞 大賞受賞記念

映像舞踊『BOLERO 2020』

編集：遠藤龍

演出振付：金森穰



ストラヴィンスキー没後 50 年

金森穰演出振付・Noism 版『春の祭典』いよいよ本公演！

新潟公演 | 2021.7.2 (金) ~7.4 (日) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 (劇場)

埼玉公演 | 2021.7.23 (金・祝) ~7.25 (日) 彩の国さいたま芸術劇場 (大ホール)

札幌公演 | 2021.7.31 (土) 札幌文化芸術劇場 hitaru

※新型コロナウイルスの今後の状況によっては変更の可能性がございます。

最新の情報は Noism オフィシャルウェブサイトでお知らせしております。

公演に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課

Noism 広報担当：小野 Noism 制作担当：上杉

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く) Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

オフィシャルウェブサイト www.noism.jp Noism Company Niigata NoismPR noism_official

公演について

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism Company Niigata（ノイズム・カンパニー・ニイガタ）は、日本初の公共劇場専属舞踊団として2004年に新潟市で誕生しました。設立以来、国内はもちろん世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動しています。

Noism版『春の祭典』、満を持して本公演！

1913年の初演以来、音楽、舞踊、美術など、今なお様々な芸術家に影響を与え続けているストラヴィンスキー《春の祭典》。20世紀を代表するこの楽曲にNoism0、1、2の全カンパニーで挑む金森穰演出振付・Noism版『春の祭典』を、ストラヴィンスキー没後50年を迎える今年、上演します。

〈集団〉で創作することの意義を問い直した連作の最終作『Fratres III』は、『春の祭典』とともに昨年新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して開催した「プレビュー公演」にて上演。美術、演出、実演ともにさらに練度を増した両作品の、満を持しての本公演にご期待ください。

芸術選奨文部科学大臣賞、日本ダンスフォーラム賞 大賞受賞記念『夏の名残のバラ』再演

『夏の名残のバラ』は、芸術監督・金森穰が、舞踊家として円熟期を迎えた井関佐和子の在り方にインスピレーションを受けて生まれた作品です。2019年12月から2020年1月にかけて開催した「森優貴／金森穰 Double Bill」にて『シネマトダンサー3つの小品』の中の1作品として初演しました。

今年3月に井関が受賞した芸術選奨文部科学大臣賞、2月に金森が受賞した日本ダンスフォーラム賞 大賞のいずれもの受賞の理由とされた本作品をこの度、受賞記念として再演します。

映像舞踊『BOLERO 2020』大スクリーンでの上映

2020年、コロナ禍だからこそ生まれた作品として発表した映像舞踊『BOLERO 2020』。昨年10月よりオンライン上で配信を開始した本作品を、劇場の大スクリーンで上映します。スマートフォンやパソコンの画面での視聴とは異なる、大画面での鑑賞体験をお届けします。



Noism0+Noism1+Noism2『春の祭典』（2020年）
©Isamu Murai



Noism0+Noism1『Fratres III』（2020年）
©Isamu Murai



Noism0『夏の名残のバラ』（2019年）
©Kishin Shinoyama



映像舞踊『BOLERO 2020』より

About Works : 作品について

『春の祭典』

演出振付：金森穰

音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》

椅子：須長檀 衣裳：RATTA RATTARR 出演：Noism0、Noism1、Noism2

“もし《春の祭典》を演奏するオーケストラが踊り出したら？”

演奏家がそれぞれに担当するパートを踊り、その集合としてのオーケストラ（集団）から立ち現れる出来事を演出できたら。実験的アプローチを通して立ち現れる現象を直感的に構成する実験舞踊シリーズなら、この音楽の精神、人間という生物の精神的変遷を表現できるかもしれない。21世紀の生贄達を表現できるかもしれない。

これが、私が『春の祭典』創作に着手する動機である。

（実験舞踊 vol.2『春の祭典』／『Fratres III』（2020）金森穰演出ノートより）



Photo: Isamu Murai

『Fratres III』

演出振付：金森穰

音楽：A.ペルト 《Fratres》 衣裳：堂本教子 出演：Noism0、Noism1

本作『Fratres III』では中央のソロを取り囲むように群舞が配置される。ソロと群舞は互いに影響し合い、高揚してゆく旋律と相まって、集団的祈り、すなわち祭儀性を以って実演される。それは金森版ポレロ（ベジャールの）と言えそうな構成だが、本作におけるソロは集団を導くカリスマではなく、あくまでも集団の中の一個人である。

個人の献身（祈り）と集団の献身（祈り）は融合する事なく拮抗し“続ける”。そう、続くということこそが本作における祈りの主題である。それは中心（目標や理念）を失い、今という時間だけが個別バラバラに消費されていく時代に対する、抵抗の儀式であるとも言える。

（実験舞踊 vol.2『春の祭典』／『Fratres III』（2020）金森穰演出ノートより）

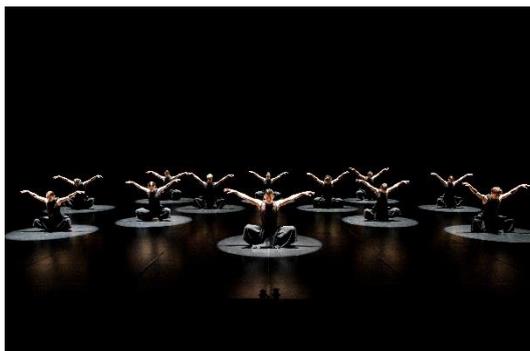


Photo: Isamu Murai

About Works : 作品について

『夏の名残のバラ』『シネマトダンス-3つの小品』(2019)より

演出振付：金森穰

音楽：F.V. フロトー《Martha》より《Last Rose of Summer》 衣裳：堂本教子 出演：Noism0

*芸術選奨文部科学大臣賞(井関)・日本ダンスフォーラム賞 大賞(金森) 受賞記念

空間も時間も自由に飛び越える映像に対し、舞踊(身体)は常に空間と時間に縛られている、というかその縛りこそが身体の本質、すなわち舞踊の本質であると言える。映像は記録と不可分であり、舞踊は記憶と密接である。

ではなぜ映像と舞踊を掛け合わせるか。それはそうすることで、上記した舞踊の本質をより顕在化することができると思うからである。映像の力を借りるのではない。映像の力と拮抗することで、今、此処でしかない、刹那なる身体存在を、再現不能な一回性の燃焼を、観客の心(記憶)に刻むのだ。

(『シネマトダンス-3つの小品』(2019) 金森穰演出ノートより)



Photo: Kishin Shinoyama

映像舞踊『BOLERO 2020』

演出振付：金森穰 編集：遠藤龍

「新しい生活様式」が標榜されるなか、日常的にも、文化・芸術の領域においても映像メディアに触れる機会が急増している昨今。映像舞踊『BORELO 2020』は、人々が集まること、触れ合うことが忌避されるこの時代に、異なる空間にいる人同士をつなげるという、映像メディアの特性を活かし、Noism初の「映像のための舞踊作品」として昨夏に創作。オンライン上での公開を行っています。

◎オンラインにて公開中

購入・視聴：(200円/7日間レンタル)



Photo:Kishin Shinoyama

金森 穰 Jo Kanamori

演出振付・出演

演出振付家、舞踊家。リ्यूとぴあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、リ्यूとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。サイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回(2018年度)毎日芸術賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com Twitter/@jokanamori

Noism Company Niigata (ノイズム・カンパニー・ニイガタ)

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0 (ノイズムゼロ)、プロフェッショナルカンパニーNoism1 (ノイズムワン)、研修生カンパニーNoism2 (ノイズムツー) の3つの集団があり、2004年の設立以来、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動している。Noism1 はりゅーとびあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動。Noism2 はプロをめざす若手舞踊家が所属し、劇場での公演の他に、新潟市内で開催されるイベントや学校への出前公演等、地域に根ざした活動を続けている。Noism0 は、舞踊に限らず、年齢と経験を積み重ねた芸術家だからこそ生み出せる表現を、新潟から世界に向けて発信していく。

Noism の由来は、「no-ism = 無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に有用な新しい形に置き換え、現代人としての身体表現を後世に伝えていこうとしている。

Noism0



金森穰

Noism 芸術監督



井関佐和子

Noism 副芸術監督



山田勇気

Noism1 リハーサル監督

Noism1



ジョフォア・ポブラウスキー



井本星那



林田海里



チャーリー・リャン



カイ・トミオカ



鳥羽絢美



スティヴン・キルダン



西澤真耶



三好綾音



中尾洸太



杉野可林 (準メンバー)



樋浦瞳 (準メンバー)

Noism2



浅海侑加

Noism2 リハーサル監督



池田穂乃香、カネール・ミラン・ハジメ、坪田光、中村友美、青木愛実、兼述育見、小林亜優
土屋景衣子、渡部梨乃

Photo : Kishin Shinoyama(Kanamori) 、Noriki Matsuzaki

ストラヴィンスキー没後 50 年

Noism0 + Noism1 + Noism2 『春の祭典』

『春の祭典』

演出振付：金森穰
 音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》
 衣裳：RATTA RATTARR
 椅子：須長檀
 出演：Noism0、Noism1、Noism2

『夏の名残のバラ』

演出振付：金森穰
 音楽：F.V.フロトー
 《Martha》より《Last Rose of Summer》
 衣裳：堂本教子
 出演：Noism0

『Fratres III』

演出振付：金森穰
 音楽：A.ペルト 《Fratres》
 衣裳：堂本教子
 出演：Noism0、Noism1

映像舞踊『BOLERO 2020』

演出振付：金森穰 編集：遠藤龍
 *映像舞踊『BOLERO 2020』はオンラインにて公開中
 (200円/7日間レンタル)
 ▶<https://filmuy.com/noism>

新潟公演 Niigata

日時：2021年7月2日(金) 19:00、3日(土) 17:00、4日(日) 15:00 *全3回

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉 新潟市中央区一番堀通町3-2

入場料：全席指定 5,000円、U25 3,000円、高校生以下 1,000円(税込)

チケット発売日：りゅーとぴあ会員先行 4月10日(土) / 一般 4月16日(金)

埼玉公演 Saitama

日時：2021年7月23日(金・祝) 19:00、24日(土) 17:00、25日(日) 15:00 *全3回

会場：彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

入場料：全席指定 6,000円、U25 3,000円(税込)

チケット発売日：SAFメンバーズ先行 4月10日(土) / 一般 4月16日(金)

取扱：りゅーとぴあ(オンライン・電話・窓口)

▶オンライン・チケット <https://piagettii.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 11:00~]

▶電話 025-224-5521 (11:00~19:00/休館日除く) [発売初日 11:00~]

▶窓口(りゅーとぴあ2階) [発売初日(会員先行・一般発売ともに) 取扱いなし]

残席がある場合には翌営業日 11:00より取扱い開始

彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンライン) *埼玉公演のみ

▶電話 0570-064-939 (10:00-19:00、休館日除く)

▶オンライン <https://ticket.aserv.jp/saf/>

埼玉会館(窓口のみ、10:00-19:00、休館日除く) *埼玉公演のみ

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(埼玉公演)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館



※この公演は国および新潟県、新潟市等のガイドラインに基づき、客席制限は行わずに開催します。

札幌公演 Sapporo

2021年7月31日(土) 18:00 *全1回

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru 札幌市中央区北1条西1丁目

※チケット発売等の情報は、札幌市民交流プラザホームページにて随時ご案内いたします。

札幌市民交流プラザホームページ▶<https://www.sapporo-community-plaza.jp/>

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の点にご留意ください。

- ・平熱より0.5度以上高い発熱や咳、咽頭痛等の症状のある方は来館・入場しないでください。その場合、チケットは払戻しいたしますのでお申し出ください。
- ・マスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底と、社会的距離の確保をお願いします。
- ・次の行動はしないでください：
お客様同士の大声での会話、出演者への声掛け(掛け声、プラボー等)、出演者への贈り物(お花、お手紙、プレゼント等)、出入り待ち、楽屋訪問
- ・当面の間、ピュッフェ、クローク、サイン会、アフタートークは行いません。ブランケット等の物品貸出も休止しています。
- ・来場時、アンケート用紙に住所、氏名、緊急連絡先等の個人情報をご記入ください。万一、来場者から感染が確認された場合は、情報を保健所等公的機関に提供いたしますのでご了承ください。
- ・社会情勢の変化により、公演内容を変更または中止する場合があります。最新の情報はりゅーとぴあホームページ(<https://www.ryutopia.or.jp>)、またはNoism オフィシャルウェブサイト(www.noism.jp)にてご確認ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

新潟市民芸術文化会館

公演に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課 Noism 広報担当：小野 Noism 制作担当：上杉
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く)

Fax: 025-224-5626

Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism official web site: www.noism.jp



Noism Company Niigata



NoismPR



noism_official